



# 協議会だより

■発行 第五地区心潤う豊かなまちづくり協議会/会長：高見澤忠明

■編集 総務広報部会 広報委員

## 健康福祉環境部会



### 家庭介護に役立つ技術

～家庭での介護のしかた～

高齢者などの方で、寝たきりの生活を送っている方が沢山おられます。今は、在宅医療・在宅介護が求められておりますが、在宅で介護される方も、介護する方も大変な負担がかかります。在宅介護の知識、身体の向きの変え方などのコツを11月13日（木）に南石堂町公民館に長野市民病院の小澤彩子 看護師長にお越しいただいて、総勢約30名で講演会を開催しました。

最近は核家族化が進んでおり、若い人は勤めに出ており、老々介護・認知介護が社会問題になってきています。これからは、家族だけで介護をするのではなく、社会のサービスを使って、みんなの協力で介護する方向になっていくでしょう。お互いが負担にならない介護の仕方を実技を交えてお話しいただきました。

整形外科に来る患者さんの中には、骨粗しょう症による股関節の骨折が多い。後は脳卒中・脳梗塞など脳の疾患などは介護が必要になります。

仮装の患者さんにベットに寝てもらい、指一本でできる身体の向きの変え方、起こし方、ベットの柵の使い方、衣類の脱着の方法、車椅子の使い方などいろいろ学び、皆さん交互に実際に体験をしました。

普段私たちが行っている動作にそったやり方、ボディメカニクス（自分の体に負担をかけないように動く）と、テコの原理を応用して身体を動かすことによって、相手を軽く動かして、無理なく介護できるポイントだそうです。

皆さん、介護のテクニックを習得しようと真剣にご覧になって参考になったようです。



## 健康福祉環境部会（環境委員会）

### 下水道処理・食品廃棄物リサイクル施設見学会



第五地区環境委員会では、下水道処理施設と食品廃棄物リサイクル施設の視察研修を、地域住民の方43名が参加して11月11日（火）に実施しました。

まず、アクアパル千曲の下水道処理施設を訪問しました。家庭や工場から流される下水を再びきれいな水とする終末処理場として平成8年に長野県が千曲川沿いの長野市真島町川合に建設しました。

家庭や工場から流される汚れた水は、そのまま流すと川や海を汚してしまいます。そこで下水処理施設で再びきれいな水に戻して川に流します。ここに流された汚れた水は、反応槽で活性汚泥という微生物の集まりと、下水に空気を送り込むことによってよく混ぜます。微生物は酸素の働きによって、どんどん汚れをとります。これに薬品で消毒されたきれいな水は、千曲川に放流されます。

次に、ホテル・レストラン・給食センター・百貨店などから出される、野菜・ごはん・肉類などの廃棄物を処理して、豚の飼料の原料にリサイクルしている、七二会にある直富商事(株)苦桃工場（にがもも）で視察研修をしました。

運び込まれた食品系廃棄物は、種類別に容器に入れられてホッパーでミックスして混合され、攪拌して乾燥させて脱水された粉末は豚の餌として袋詰めして出荷されます。その工程を工場内を説明を受けながら見学しました。



家庭や工場から出た下水、食品の廃棄物の最終処分工程を視察研修しました。

家庭や工場から出た下水、食品の廃棄物の最終処分工程を視察研修しました。

## 暴力追放長野県民大会

～安全で平穏な長野市の実現をめざして～

暴力団は近年、伝統的な資金獲得活動や民事介入暴力、行政対象暴力等に加え、その組織実態を隠ぺいしながら、建設業、不動産業、金融・証券市場へ進出して、企業活動を仮装した一般社会での資金獲得活動を活発化させています。

10月22日（水）に長野県暴力追放県民センター、長野市などの主催で県民大会が暴力追放意識の高揚を図り、安全で住み良い社会をつくる目的でホクト文化ホールで開催されました。

長野市では「長野市暴力団排除条例」が平成27年1月1日から施行されました。

暴力団とは、「その団体の構成員が集团的に又は常習的に暴力的不正行為等を行う恐れがある団体」（暴力団対策法第2条2号）のことをいい、その構成員及び準構成員等の数は、関西の山口組、北九州の工藤会等平成25年末現在58,600人で、うち、暴力団構成員の数は25,600人で、準構成員数は33,000人です。長野県内は31組織、840人と推定されます。

暴力団の組織の実態は①「弱きをくじく」アウトローの集団：弱者には徹底的に強く、強い者には弱い。②「社会貢献を隠れみの」：災害援助等を寄付したり、任侠団体を主張しているが、援助金の陰で多くの人びとが泣いている。③「盃は血より濃し」：盃事により、肉親以上に組織と親分のために尽くすことを誓われる。④「内部統制の掟と制裁」：上位者の

命令には絶対服従で、掟を破ると残忍な制裁を受ける。⑤「ヤクザの懐具合」：大規模な暴力団のトップは、毎月数億円上納金が集まり、暴力団員の平均年収は一人1,500万円といわれる、などです。

暴力団を追放するには、①暴力団を「利用しない」、②暴力団を「恐れない」、③暴力団に「金を出さない」、④暴力団と「交際しない」などです。『暴力団 恐れず 支えず かわらさず』（平成26年度最優秀標語）。

暴力団に関することは、迷わず、恐れず、下記のまちの相談窓口まで相談を。

(公財)長野県暴力追放県民センター ☎026-235-2140  
 長野県警察本部組織犯罪対策課 ☎026-235-1224  
 長野中央警察署 ☎026-244-0110

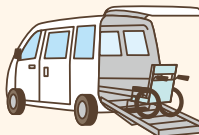


## たすけあい事業の「協力会員を募集」しています！

～どうかご支援をお願いします～

「人間に備わっている他人のために……」のその気持ちは誰もが持っています。  
 どうかあなたの時間を貸してください。

- \*活動内容は、「家事援助」や「福祉移送」車両の運転です。  
 家事援助は、掃除・洗濯及び食事づくりなどです。  
 福祉移送については、講習受講等の条件があります。
- \*熱意のある方であれば、年齢や経験は問いません。



詳しくは、コーディネーターにお問い合わせください  
 電話 238-2820 第一から第五地区合同事務所内 山田・浅倉まで

# 各町からのお知らせ

岡田町  
より

## 岡田町文化祭

毎年恒例になっております岡田町文化祭が、11月8日(土)と9日(日)に行われ、住民の皆さんが丹精込めて作り上げた力作が岡田町公民館に展示され、住民の皆さんが鑑賞に訪れておりました。

今年も会場いっぱい、岡田町サークルの社会部 書道教室の書道、育成部の皆さんの習字・掛軸。他に住民の皆さんの生け花、写真、パッチワーク、工芸品など多数あり、いずれも力作が展示されました。今回は、岡学園のトータルデザインアカデミーのカクテルドレスと長野美術研究所の絵画などが特別出品され注目されておりました。



また、松田和広氏の「昔の思い出」と題し、天秤はかり、小型そろばん、昭和初期の記念切手、昔の書籍などいずれも懐かしい品々が並べられ、皆さん懐かしげに見入っておりました。

訪れた皆さんは、今年も出品者の力作に感心して、熱心に鑑賞されておりました。

この文化祭も今回は三十回と節目を迎えました。これからも、ますます発展しますことを祈念します。



中御所  
より

## 中御所 文化芸能祭

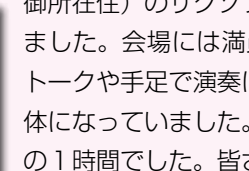
今年も中御所文化芸能祭が、11月15日(土)と16日(日)に、中御所公民館で盛大に開催されました。

1階の展示場には、住民の皆さんが丹精込めて作られた作品、育成会の児童・生徒さんのパッチワーク・ちぎり絵・陶器・折り紙など、婦人部のパッチワーク・タペストリー・ポーセラーツ、また、住民の方の写真・チョークアート・アレンジフラワー・書道、中には、篠原厚海氏(前区長)の「峠の廃居」と題した50号(90cm×115cm)の水彩画の大作も目を引きました。大勢の方が、それぞれの力作に真剣に見入っておられました。

2階の大広間では、名物となっている芸能祭が開催され、大勢の方が期待を膨らませて詰めかけており、まず、平瀬姉弟(保育園年中・小2・小4)のギター独奏には、子どもとは思われない素晴らしい演奏に聞き入っておられました。カラオケ木曜会の歌謡曲、ハーモニカ同好会の演奏、出雲流茜会のプロ並みの皆さんの舞踊など次々に出演し、拍手喝采でした。

毎年恒例になっている裾花小学校合唱部の生徒さん40名による、もみじ、里の秋など「秋の歌」メドレーは誰でも知っている懐かしい曲を4曲、息の合った素晴らしい合唱を聞かせてもらい、シーンと静まりかえって聞き入って拍手喝采でした。そして、長野市交通政策課による、交通安全・特殊詐欺の寸劇・腹話術には、腹を抱えて笑ったり、顔いたりしておられました。

2日目の16日(日)には、特別企画として長野市文化芸術振興財団と共催で音楽キャラバンが、塩入幸恵さん(中御所在住)のサクソフォンとたかがわいづみさんのマリンバのデュオ・リサイタルが開かれました。会場には満員の観衆が入り、プロの迫力ある演奏に魅了されていました。途中にトークや手足で演奏に合わせてリズムを取りながら聞くなど組み込まれ、皆さん演奏者と一緒になっていました。アンコールではふる里を皆で一緒に歌い、7曲の演奏もアツと言う間の1時間でした。皆さんプロの生演奏は接する機会が少ないと思いますが、プロの迫力ある



素晴らしい音色の演奏には感動したようです。

西澤公民館長は、「今回の文化祭も、婦人部・育成会・各団体の皆さんのご協力で開催にこぎつけました。本日は日頃の成果を出しきって、皆さんに披露いただきました。おかげさまで、今年も素晴らしい文化芸能祭ができました」と語られました。



# 各町からのお知らせ

末広町  
より

## 新長野駅ビル工事進む ～長野駅前の賑わいを期待～

JR長野駅ビル・善光寺口駅前広場整備も着々進んでおり、9月9日には建設中の新駅ビルと商業ビル「ウエストプラザ長野」を結ぶ歩行者専用デッキがつながりました。

そして11月21日（金）には、「MIDORI 長野」が一部45店舗が先行オープンしました。新駅ビルの2階、3階と、改修を終えた既存駅ビルの2～5階には、服飾雑貨店や長野県初出店のセレクトショップなどで、特に話題を呼んでいるのは、既存ビル4階に生活雑貨大手の「東急ハンズ」が北信越地方第1号店として開店したことです。現在新規出店は7割超の34店舗で、今年3月の新幹線延伸開業時には、新駅ビル2階に土産品店25店舗、3階に飲食店7店舗などを新たにオープン予定で、約110店舗が開業するショッピングゾーンとなります。これまでは若い女性がターゲットでしたが、若い女性以外の客層を意識した店が多く入り、紳士服店には大勢の男性客が足を止めており、大変な賑わいを見せておりました。



新駅ビルの参入で商業集積が一層進むと見込まれる長野駅周辺では、既存大型店や商店街組織が顧客のつなぎ留め対策をうち、郊外に流れていた客層を、新たに取り込むなどで相乗効果が期待できそうです。

南石堂町  
より

## 野良猫の繁殖防止取組み活動 ～猫と人が共生できる世の中をめざして～

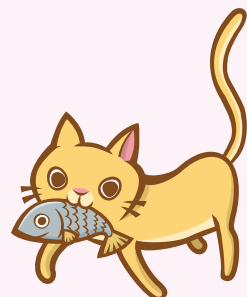
まち中でも猫の姿が多く見られ、野良猫も沢山住み着いているようです。猫の繁殖力は旺盛で、次々に子猫が生まれ、どんどん増えていってしまいます。野良猫は餌場に集まり、周辺で生活しながら出産するため、飼い主のいない猫が増え続けます。近隣住人からフン尿、出産などで迷惑で、何とかしてほしいとの声も多く寄せられています。

南石堂町環境美化推進会（会長・第五地区住自協環境委員長：須田荘一郎氏）では、野良猫（外猫）の避妊（不妊・去勢）手術をして、繁殖を抑制するため、長野市保健所の協力を得て、10月15日、11月10、17、18日の4回にわたり、野良猫・外猫に対して不妊・去勢手術を行うために、オス9匹、メス9匹の18匹を捕獲して手術処置をし、元の場所に戻されました。避妊手術には相当の費用がかかるため、町内の有志の方の寄付で費用の一部をまかなったそうです。

飼い猫は、屋外で飼うとフン尿などで、ご近所に迷惑をかけ、交通事故や病気の危険もあるので、保健所では屋内で飼ってくださいとのことです。また、外に出てしまうことを想定し、住所・氏名を記載した首輪を着けましょう。

手術を実施した猫を、家猫として引き取り屋内で飼っていただける方、飼い主のいない猫を、地域の住民やボランティアで餌やり、トイレ管理をするなどしていただける方は、区長さん又は環境美化推進会までお申し出ください。

動物愛護と環境美化を目指し、野良猫と人が共生できる世の中を創り上げるため、全国で「地域猫活動」が広がっているそうです。南石堂町では猫の避妊手術活動は、今後しばらく続けていく予定だそうです。



事務局

第五地区の活動にご意見、ご提案がありましたら、各町の区長さんまたは、事務局にお問い合わせ下さい。

〒380-0833

長野市大字鶴賀権堂町2201番地20

権堂イーストプラザND 1階 第一から第五地区合同事務所

TEL 262-1512 (FAX共通)

メール dai5@feel.ocn.ne.jp